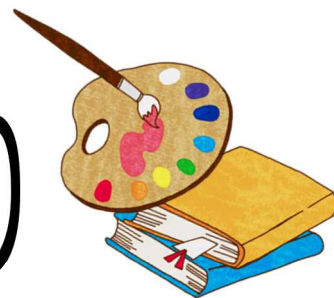




新屋図書館だより



発行：秋田市立新屋図書館

秋田市新屋大川町 12-26 ☎ 018-828-4215

<https://www.city.akita.lg.jp/kurashi/shakai-shogai/1008469/1008848>

No. 260

R5. 秋の合併号

きららとしょかん新屋図書館 市民文化講座

海洋プラスチック問題を考えよう

海洋プラスチックの何が問題なのか。
海岸の清掃活動などにも携わる
第一人者の先生を招き、
お話ししていただきます。

令和5年10月29日(日)

14:00~15:30

(申込み:10月15日(日) 10:00~)

講師:境 英一氏

(秋田県立大学准教授)

定員:先着15名

会場:新屋図書館 研修室

大森山動物園・新屋図書館 コラボ企画第4弾

飼育員さんと本の話をしよう

大森山動物園の飼育員さんと読書会をしましょう!
動物や、動物園に関する本を持ち寄り、
みんなで“ゆるっと”おはなしをしませんか?

令和5年10月21日(土)

10:30~12:00

申込み受付中!

対象:高校生~大人

定員:先着20名

会場:新屋図書館 研修室

参加される方は、当日
動物や動物園に関するおすすめの本を
1冊ご持参ください。

10~11月のおはなし会

10月7日(土) 14:00~14:30

お月さま ~絵本・紙芝居~

(おはなしのへや・幼児~小学生)

10月17日(火) 10:30~10:50

おつきさま こんぼんは

~絵本・わらべうた~

(おはなしのへや・赤ちゃん~)

11月4日(土) 14:00~14:30

木の葉のおはなし

~絵本・木の葉の紹介~

(おはなしのへや・幼児~小学生)

11月14日(火) 10:30~10:50

動物の赤ちゃん

~絵本・紙芝居~

(おはなしのへや・赤ちゃん~)

11月15日(水) から30日(木) まで、特別整理期間のため

秋田市立図書館の全館が休館します。ご注意ください。

新刊案内

東日本大震災伝承施設ガイド つなげよう 次の未来へ

JTBパブリッシング／編集・制作

復興庁 請求記号 291.2 (東北地方の地理)



東日本大震災から12年が経過しましたが、当時の状況や教訓を後世に伝えるべく多くの伝承施設がつくられています。本書は、それらの施設の内容はもちろん、所在地の被害状況や、訪れた際に注目すべきポイント、震災について考えるきっかけとなる問いなどを併せて掲載しています。

僕の仕事は、世界を平和にすること。

川崎 哲／著

旬報社 請求記号 319.8 (戦争と平和)



ノーベル平和賞を受賞した「核兵器廃絶国際キャンペーン」の中心メンバーである著者が、平和活動に興味を持った理由や、実際の活動内容を紹介。政府にも企業にも属さない一市民として、戦争や核兵器の問題にどう関わっていくか、平和について考えるきっかけになる一冊です。

ウイスキーは楽しい！ 絵で読むウイスキー教本

ミカエル・ギド／著、ヤニス・ヴァルツィコス／絵、河 清美／訳

パイ インターナショナル 請求記号 588.57 (蒸留酒)



ウイスキーは敷居が高いと思われがちですが、実はフルーティーなものも多く、初心者でも楽しめるお酒です。本書は基礎的な知識を紹介しつつ、合わせたい食材や選び方など実用的な情報も網羅。初心者の方は一読してから嗜むと、より奥深いウイスキーの世界に浸れるかもしれません。

ききみみトーマス

桂 雀喜／原作 あおきひろえ／文・絵

あかね書房 請求記号 91カ (読み物) ※小学校低学年から



広い耕地のテキサスに引っ越したトーマスは、毎日1時間も歩いて学校に通っています。ある日の通学途中、弱っているキツネを見つけたので、お弁当を分けてあげました。すると神様が現れ、動物達の話がわかるようになる不思議なはねをくれたのです。新作落語が原作の愉快的物語。

図書館員（飯野 敏）のおすすめ本

書名

カステラ、カステラ！

著者名

明坂 英二／文、齋藤 芽生／絵

出版社

福音館書店

所蔵

新屋、明德

請求記号 38 (飲食史)



約500年前にポルトガルからキリスト教とともに長崎に伝わった「パン・デ・ロー」というお菓子。日本ではその後「カステラ」と呼ばれるようになります。（語源は諸説あるようです）

カステラは当時の日本では貴重であった砂糖と、仏教の戒律上禁忌であった卵を大量に使うお菓子でした。しかも当時の日本にはオーブン

がありませんでした。それでも日本の菓子職人は、なんとかしてカステラを作ろうとします。そしてついに「カステラなべ」というものを発明し、“日本のカステラ”を誕生させました。

それから300年後、ペリー提督一行が来日します。振舞われた日本のカステラに、一行も目を丸くしたことでしょう。

挿絵も含め、外国情緒が味わえるのもこの本の魅力です。

図書館員（佐藤 奏）のおすすめ本

書名

奇跡のフォント 教科書が読めない子どもを知って
UD デジタル教科書体開発物語

著者名

高田 裕美／著

出版社

時事通信社

所蔵

明德

請求記号 007.63 (書体)



著者は書体専門のデザイナー。仕事で訪れた特別支援学校で弱視の子どもたちが勉強に苦労する姿を目の当たりにしたのが「UDデジタル教科書体」開発のきっかけでした。

日本の識字率は、ほぼ100%とされ、ほとんどの人が文章を理解して読み書きできると考えられています。しかし実際には文章の内容は理解できても文字を読んだり、書いたりするこ

とに苦戦している子どもたちが沢山います。

本書では、そんな困難を抱える子どもたちでも、読みやすく、学びやすいフォントがどうやって誕生し、社会に広がっていったのかが紹介されています。完成までの道のりは容易ではなくかかった期間は8年。誰一人取り残されない学校や社会を実現するため、長きに渡り開発に携わった人たちが奮闘する姿に心打たれます。

↑本文のフォントに「UDデジタル教科書体NP-R」を使用しています。

記事になったお酒の話題あれこれ…『秋田の酒を楽しむ会』…

10月1日は「日本酒の日」。2015年よりこの日に開催されてきた『秋田の酒を楽しむ会』が、今年も秋田駅西口駅前広場で実施されました。イベントに参加した蔵元の数は、昨年参加した26か所に、「北鹿」で知られる株式会社北鹿と、「一滴千両」で知られる秋田県発酵工業株式会社の2か所を加えた28か所。中には、7月の大雨で酒蔵が床上浸水するという水害に見まわれた、「ゆきの美人」で知られる秋田醸造株式会社の名前もありました。

新型コロナウイルス感染症の蔓延への対策などもあってか、ここ5年で秋田県の日本酒の出荷量は15%ほど落ち込んでいるとのこと。秋から冬は、温かい食べ物とお酒がおいしい季節です。こういったイベントに参加したり、秋田のお酒で晩酌したり…おいしい地酒を堪能しながら、秋田の蔵元を応援したいですね！

新屋は、醸造の街。
新屋図書館には、酒の
資料コーナーがあります。

【参考資料】

朝日新聞DIGITAL
(2023年9月8日掲載)
秋田県酒造組合公式サイト
(2023年9月13日閲覧)

今、あなたへ…スキマ時間に読書はいかが？…



ちょっとした空き時間に、ついスマホを眺めてしまうことはありませんか？そんなスキマ時間でも簡単に読める本があります！

『阿佐ヶ谷姉妹ののほほんふたり暮らし』（阿佐ヶ谷姉妹／著、幻冬舎）は2人の日常を自虐たっぷりに綴ったエッセイ。1つの話につき5ページ程度で語られているのでスキマ時間にはもってこいです。

『絶滅事典』（造事務所／編著、カンゼン）には「オワコン」になったモノとコトが大集合。読めば当時の思い出が鮮明に蘇るかも？

忙しい人には『翻訳できない世界のことば』（エラ・フランシス・サンダース／著、創元社）がオススメ。一言では訳せない世界の単語の意味を簡単な文と絵で伝えます。日本語からは「ボケっと」「わびさび」などが選ばれているので、ぜひチェックしてみてください。

図書館員のひとりごと

それほどの読書好きではないものの、睡眠前のひとときには毎日のように本を開く。絵にかいたような乱読。手近にある本を手にとって、寝落ちする日々。結局、何度も同じ本の同じ場所を読むことに。

そんな私が4月から新屋図書館勤務。少しは読書らしい読書の習慣が身につくものやらと思いつつ、これまで気にも留めたことのない本の数々が並ぶ棚の前に立って、読んでみようかなあという衝動を感じ始めた今日この頃です。

（八木橋）

今年の夏の猛暑は、我が家の庭にも多大な影響をもたらしました。例年であれば、ちょっとやそっとの日照りではびくともしない木々の葉が早々と枯れて庭に降り積もっている様は、悲しい光景でした。植物たちも「こんなに暑くなるとは思わなかった。」と驚いていたのかもしれない。葉の落ちた木々をどうすればいいのか、何か技が載っている本でもないものかと途方に暮れる日々です。ともあれ、季節は確実に進んでいきます。もうすぐやって来る冬を乗り越えて、来年また緑の芽を出してくれることを願い、「がんばれ」と声掛けをしながら眺めています。

（伊藤）